

# 北海道スマートフードチェーン プロジェクト事業化戦略会議2025

日時

2025年  
**3月12日(水)**  
13:00～16:50  
(12:00～受付開始)

会場・アクセス

**帯広市民文化ホール 小ホール**  
帯広市西5条南11丁目48番地2  
●JR帯広駅南出口より徒歩5分

【参加無料】

会場及び  
オンライン配信

お申込みはこちら

北海道SFC事業化戦略会議2025



プログラム

休憩時間にポスターセッションを実施

## 第一部 講演 北海道スマートフードチェーンプロジェクトにおける取組みと成果

農研機構 北海道農業研究センター

- 1) 北海道スマートフードチェーンプロジェクト  
ー農と食に関する開発技術を速やかに社会実装へー
- 2) 高精度気象データを利用したデンサイ収量予測モデル開発とバレイショ生産の省力化
- 3) 大規模酪農の省力化技術と特徴ある道産生乳生産に向けた取組み

### 研究トピック

牧草のスマートセンシング技術開発

国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学環境農学研究部門 准教授 川村 健介氏

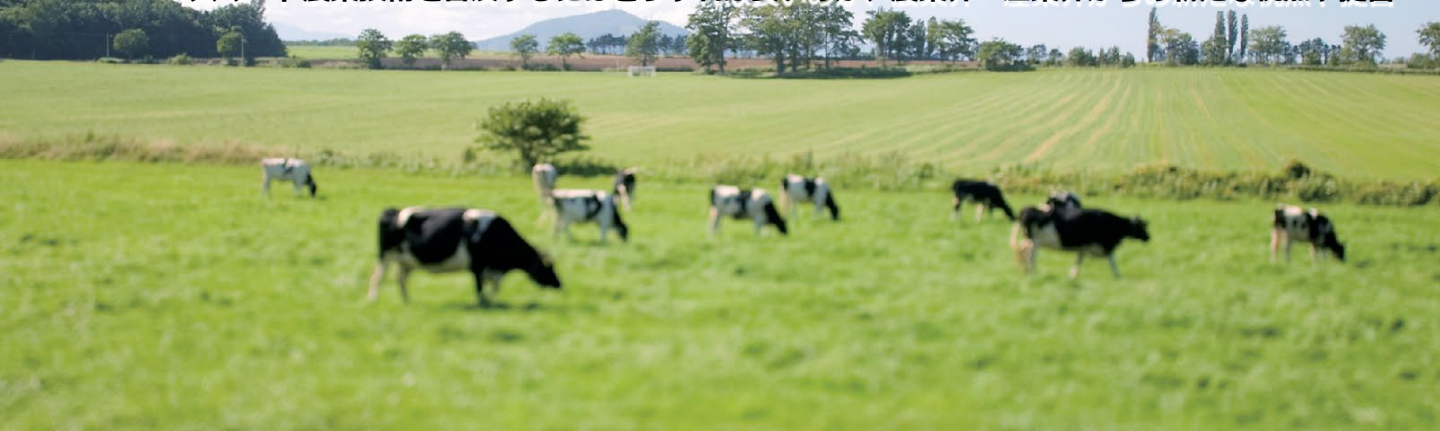
## 第二部 特別講演「スマート農業技術で支える持続可能な農業」

東洋農機株式会社 代表取締役会長 山田 政功氏

### パネルディスカッション

「生産現場が使いたくなるスマート農業技術とは」

～スマート農業技術を普及するにはどうすれば良いのか、農業界・産業界からの新たな視点や提言～



主催／農研機構

後援／農林水産省北海道農政事務所、国土交通省北海道開発局、北海道、北海道経済連合会、北海道農業協同組合中央会、  
ホクレン農業協同組合連合会、十勝農業協同組合連合会、フードバレーとかち推進協議会、  
国立大学法人北海道国立大学機構(帯広畜産大学)、国立大学法人北海道大学、地方独立行政法人北海道立総合研究機構

 **農研機構**

事務局／農研機構北海道農業研究センター

☒hokkaido-sfc@ml.affrc.go.jp TEL 011-857-9212/9279

## 特別講演者及びパネルディスカッション登壇者プロフィール

## 特別講演者・パネリスト

**山田 政功氏** 東洋農機(株) 代表取締役会長

帯広市出身。(一社)十勝農業機械協議会長を務め、国際農業機械展in帯広(2019,2023)の開催に尽力。東洋農機(株)(帯広市)は、主に畑作用大型機械を自社開発し、設計から製造まで一貫した生産・販売を行い、道内8か所に営業所・サービスセンターを展開。馬鈴薯収穫機分野では国内トップメーカーとして知られ、海外へも製品を出荷。

## パネリスト

**吉村 隆氏**

(一社)日本経済団体連合会  
21世紀政策研究所 事務局長



新潟県出身。早稲田大学政治経済学部卒業、一橋大学大学院経済学研究科修了。'97年経団連入局。'17年より産業技術本部の本部長として科学技術イノベーション政策を担当し、Society 5.0、産学官連携、大学改革などの課題に取り組む。'22年より現職。内閣府・文部科学省・経済産業省など政府の各種審議会の委員も多数経験。北海道大学客員教授も務める。

**大野 宏氏**

エゾウィン(株) CEO



中標津町出身。'07年東北芸術工科大学卒、同年山形で玩具の輸入販売事業を創業し、その後もいくつかのインターネットビジネスを創設。'19年農業酪農DXサービス会社のエゾウィン(株)(標津町)を創業。車両と圃場の管理ソフト「レボサク」を開発し導入先では自給飼料生産での作業効率18%向上を実証。「レボサク」は全国で約90ヶ所に導入。

**土屋 俊亮氏**

(株)道銀地域総合研究所取締役会長



北海道奈井江町出身。'80年北海道大学農学部卒業。同年4月、北海道庁入庁。以降、農政職場や厚生労働省、経済部食産業振興監などを経て、'15年6月、農政部長。'17年7月、(株)北海道銀行産業戦略部長。'19年6月、北海道副知事を歴任、'24年6月から現職。

**中辻 敏朗氏**

(地独)北海道立総合研究機構  
農業研究本部長



'89年旧道立天北農試採用。道立および道総研農試において、重粘土草地に対する低水分ストレスの影響評価、環境保全型農業のための土壌・施肥管理、硝酸性窒素による地下水汚染の防止、地球温暖化の作物生産への影響評価、土壌凍結深制御による畑地の生産性向上などの研究に従事。'24年4月から現職。博士(農学)。

**沼倉 岳史氏**

農事組合法人笹川北斗農場



鹿追町出身。畑作(バレイシヨ、テンサイ、コムギ、ダイズ、アズキ、加工キャベツ)と子牛生産・ホルスタイン肥育を中心に130ha(牧草地30ha、畑100ha)以上の大規模経営。播種、管理作業、収穫全ての作業を機械に乗って従業員と共に自ら行う。スマート農業実証プロジェクトでの実証試験にも協力。

**モデレーター**

**森田 敏** 農研機構 理事



'88年農林水産省入省後、地域農業研究センター(北海道、西日本、東北、九州)、農林水産技術会議事務局に勤務。主に水稻栽培研究(高温対策等)に従事。九州沖縄農業研究センター所長、NARO開発戦略センター長を経て'24年4月から現職。博士(農学)。

## 研究トピック講演者プロフィール

**川村 健介氏** 国立大学法人北海道国立大学機構 帯広畜産大学環境農学研究部門 准教授

リモートセンシングとIT技術を活用した草地生態学と放牧管理技術の研究に従事。草地診断や飼料成分評価を通じてスマート農業を推進。ニュージーランドの放牧管理の研究や、ラオスやマダガスカルでの持続的米生産の評価技術開発にも携わる。専門は草地学、植物生態学、リモートセンシング。'05年に岐阜大学で博士(農学)を取得。